

登録実現を願う一丸

イコモスの延期勧告を受けた取り組み

使館。駐日大使からは「平泉の美と平和の理念は素晴らしい」と理解を示す反応が得られたとのこと。

6月11日 報告会など決める 町世界遺産地域協

世界遺産登録に向け、住民と行政が一体となった取り組みについて協議する町世界遺産地域協議会が6月11日、町役場で開かれました。

町内の観光、商工業、農業、住民団体の代表者や町、町職員ら20人が出席。逆転登録を目指して取り組みを続けていくことを確認。世界遺産委員の審議結果が登録となった場合、決定日の19時からJR平泉駅前報告会を開き、登録以外の場合は理由を把握した上、日を改めて開くことを決めました。

審議結果が出る前の7月上旬には、町民を挙げて草刈りなどの環境整備を行うことも決定しました。

6月14日 登録に向け渡仏 県教委と3市町職員

県教委と町、一関市、奥州市の担当職員らが6月10、14日の日程で、逆転登録に向けた対



登録を目指し取り組みを続けることを確認した町世界遺産地域協

5月26日 文化庁を訪問 町長と担当者ら

「平泉の文化遺産」がイコモスから登録延期を勧告されたことを受け、高橋町長は文化庁を訪問し、登録に向けた取り組みの強化を要請しました。また同日、町と県、一関、奥州市の担当者が文化庁を訪れ、同庁、外務省の担当者との今後の対応を協議しました。

6月5日 委員国の大使館訪問 知事と3首長

達増拓也県知事と町、一関、奥州市の首長が6月5日、東京都内にある世界遺産委員国の駐日大使館を訪れ、逆転登録に



ペルーの特命全権大使（左）に登録への協力を要請する（同2人目から）達増拓也県知事、高橋平泉町長、浅井東兵衛一関市長、相原正明奥州市長

世界遺産登録を目指す「平泉の文化遺産」に対して5月23日、ユネスコの諮問機関・イコモス（国際記念物遺跡会議）が、登録を見送って審査をやり直す「登録延期」を決議するようユネスコに勧告しました。正式な登録の可否は、7月2-10日にカナダで開かれる世界遺産委員会で決まるため、町では国や県、関係市と連携し、登録に向けて取り組みを進めています。今月号では取り組みの内容をお知らせします。

6月21日 金色堂に登録祈願 町民600人が参拝

平泉商工会青年部や各種団体が開催を呼び掛けた平泉町民誓願参拝の会が6月21日、中尊寺金色堂で開かれました。町民約600人が集まり、世界遺産登

録支援への感謝の気持ちや登録実現への願い、文化遺産継承への誓いを胸に参拝しました。

金色堂前で撮影された参拝者の集合写真は、世界遺産委員会に町民のメッセージとして持参されます。

審議は6日か7日 取り組みを全力で

7月2日からカナダのケベックで開かれるユネスコ世界遺産委員会で「平泉の文化遺産」の登録可否の審議は、現地時間の6日か7日に見込まれています。カナダとの時差は13時間あるため、日本時間では7日未明から8日未明になる見通しです。

町では今後も引き続き、外務省や文化庁、県、一関、奥州市と連携し、世界遺産登録の実現に向け、最大限の努力で取り組んでいきます。

登録可否かわらず 合同イベントを開催

町と県、一関市、奥州市、それに3市町の観光協会、県南広域振興局の合同による記念イベントが7月19、20の両日、世界遺産登録の可否にかかわらず開催されます。

初日は旧観自在王院庭園をメイン会場に、郷土芸能や太鼓披露などを予定。第2部では書道家武田双雲さんの記念トーク、姫神の記念ライブ、町内女性団体の「平泉ふるさと踊り」も行います。2日目は水かけ神輿を繰り広げます。

6月20日 平泉文化遺産を視察 外務省部長

外務省広報文化交流部の山本忠通部長が6月20日に当町を訪れ、当町、一関、奥州市の首長と今後の取り組みについて協議した後、中尊寺や毛越寺などを視察しました。

山本部長は、委員国への説得力ある説明に向け、当町を訪問。「浄土がどついうものか実感できた」とし、委員各国にある日本大使館を通じて働き掛ける考えを示しました。



誓願参拝に参加するため中尊寺金色堂前に集まった町民約600人

世界遺産登録を目指し 環境整備にご協力ください

町では、平泉の景観を守り、世界遺産を目指すまちにふさわしい環境にするため7月6日（日）、町内全域での環境整備活動を実施します。

個人、行政区、団体、事業所などみんなで協力して、きれいな町にしましょう。

期日…7月6日（日）
地区や団体で実施する場合、時間・場所などは各行政区・各種団体の指示に従ってください。

内容…家の周りや道路等の清掃、除草や花壇の整備など

問い合わせ先…世界遺産推進室
☎46-2218